

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年11月1日発行

— 2018.10.22～ 2018.10.28 — 第43週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週
水痘	5 1.00	1 0.10	1 0.20			9 1.80	5 2.50	6 0.22	27 0.46	968			○	○
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50				2 0.07	4 0.07	195				
感染性胃腸炎	23 4.60	31 3.10	16 3.20	22 11.00	10 3.33	13 2.60		101 3.74	216 3.66	11,166	◎	◎	◎	◎
手足口病	16 3.20	4 0.40	9 1.80	1 0.50	2 0.67	1 0.20	1 0.50	27 1.00	61 1.03	2,026	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		19 1.90	4 0.80		3 1.00		6 3.00	165 6.11	197 3.34	1,407	◎	◎	◎	◎
突発性発しん	2 0.40	4 0.40	3 0.60	1 0.50	2 0.67	7 1.40	1 0.50	16 0.59	36 0.61	1,270	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ	2 0.40	6 0.60	4 0.80		2 0.67		1 0.50	13 0.48	28 0.47	3,279	◎	◎	○	レ
インフルエンザ	2 0.25				2 0.40	1 0.13		1 0.02	6 0.06	34,092			○	レ
咽頭結膜熱				8 4.00		2 0.40		3 0.11	13 0.22	923				
流行性角結膜炎		2 0.67	1 1.00						3 0.25	151				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	19 1.90	1 0.20	1 0.50	2 0.67	29 5.80	8 4.00	44 1.63	113 1.92	6,572	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	3				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			1 1.00	1 0.20	3 0.25	147				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	5 1.00	2 0.20	1 0.20			1 0.20		15 0.56	24 0.41	2,181	◎	○	レ	レ
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	31				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2			1	8						
	川崎病	1						1						
	不明発しん症							10						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

栗原管内 女性1名  
 仙台管内 男性1名(第42週)、男性2名  
 結核(無症状病原体保有者)  
 石巻管内 女性1名  
 大崎管内 女性1名  
 仙台管内 男性1名、女性1名、女児1名\*

3類感染症: 報告なし

4類感染症: つつが虫病

大崎管内 女性1名(第42週)

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

石巻管内 男性1名(第39週)  
 梅毒  
 石巻管内 男性1名  
 仙台管内 男性1名、女性1名  
 破傷風  
 塩釜管内 男性1名(第42週)  
 百日咳  
 仙台管内 男性1名、女性1名、男児1名\*

※男児、女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[手足口病]  
 仙南管内で警報レベルを継続中です。  
 [伝染性紅斑]  
 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。  
 仙台管内で警報レベルを継続中です。  
 [咽頭結膜熱]  
 栗原管内で警報レベルを超えました。  
 [水痘]  
 石巻管内で注意報レベルを継続中です。  
 仙南管内で注意報レベルを超えました。  
 気仙沼管内で警報レベルを超えました。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

ヘルパンギーナ患者より  
 大崎管内 第42週採取分 コクサッキーウイルス A10 1件  
 第42週採取分 コクサッキーウイルス A2 1件  
 手足口病患者より  
 大崎管内 第42週採取分 コクサッキーウイルス A16 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第40週採取分 (10.1～10.7)	第41週採取分 (10.8～10.14)	第42週採取分 (10.15～10.21)
RSウイルス	5件	2件	0件
エンテロウイルス	3件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	1件

## 4. 今週のコメント

【伝染性紅斑】

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、幼児や学童を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。頬に発疹が出現する7～10日ほど前に、微熱や感冒様症状などの症状がみられますが、この時期にウイルスの排泄量が最も多くなります。妊婦が感染すると、胎児の異常(胎児水腫)や流産を引き起こすことがあるため特に注意が必要です。患者報告数は第36週頃から増加傾向を示していましたが、第40週と第42週に県内全域で警報開始基準値の2を超えたことから、県では注意喚起を行いました。特に仙台地域、気仙沼地域を中心として流行が継続しており、今後も患者の増加が予想されますので、咳エチケットの徹底をお願いします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

